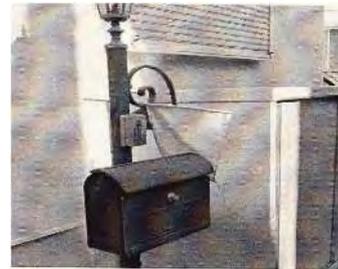


平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	橋本地区連合自主防災隊
事業名	黄色い小旗による安否確認事業
事業内容等	<p>災害時に黄色い小旗を軒先等に掲げることで安否確認や救助活動をスムーズに行う体制作りを行う。</p> <p>災害時に「わが家は大丈夫」というサインとして、玄関等への黄色い小旗を掲示し、迅速な安否確認や救済活動をスムーズに行うための体制を構築するほか、隣近所のコミュニケーションを図る。</p>
事業実績	<p>防災用資機材(黄色い小旗)を購入し、自治会をとおして各戸に配布し掲示訓練を実施。</p> <p>購入数 12,300本。</p>



申請団体	大沢地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機配備事業
事業内容等	<p>連合自主防災隊の本部であり現地対策班となるまちづくりセンターと、各単位自主防災隊にデジタル簡易無線機を配備することで、災害時の情報伝達手段を確保する。</p>
事業実績	<p>デジタル簡易無線機 17台(据置型 1台、携帯型 16台)を導入した。</p> <p>無線機の取扱い等の運用ルールを作成し操作研修等を実施した。</p>



平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	城山地区連合自主防災隊
事業名	城山地区連合自主防災隊無線機配備事業 自主防災隊 A E D 配備事業
事業内容等	災害時の現地対策班となるまちづくりセンターと各单位自主防災隊にデジタル簡易無線機を配備することで災害時の情報伝達手段を確保する。 A E D 設置を希望する単位自主防災隊に配備し、災害時における救命処置手段を充実させ、訓練により有事の危機対応能力と防災意識の向上を図る。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機 7 台（据置型 1 台、携帯型 6 台）を導入した。</p> <p>単位自主防災隊に A E D を配備した。取扱い訓練を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

申請団体	津久井地区連合自主防災隊
事業名	安否確認支援事業
事業内容等	震災時に住民の安否確認を短時間に行い、被災者を早期に救出するため、玄関先等へ「黄色い小旗」を掲げる安否確認支援事業を推進する。あわせて巡回者用の腕章と事業に取り組む世帯へステッカーを配布する。 活動を通し自主防災リーダーをはじめとする地域住民の防災に対する意識の向上を図る。
事業実績	<p>単位自主防災隊へ黄色い小旗 2 , 8 0 0 本、ステッカー 9 , 3 0 0 枚、腕章 6 0 0 枚を配布し、安否確認等の防災訓練を実施した。</p> 

平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	相模湖地区連合自主防災隊
事業名	トランジスタメガホン配備事業 差し替えベスト配備事業
事業内容等	災害時における自主防災隊等での集団の統率を図るため、トランジスタメガホンを配備する。また、避難所等での役割を明確にするため差し替えベストを配備し、訓練で使用する。
事業実績	トランジスタメガホン41個、差し替えベスト105着を購入し自主防災隊へ配備した。あわせて避難所で実施した防災訓練で活用した。 

申請団体	藤野地区連合自主防災組織
事業名	孤立対策推進地区防災資機材等補完事業
事業内容等	孤立対策推進地区のうち集会所等がない地区では、市が配備した資機材を民家の倉庫等に保管しているが管理面での課題がある。今回新たに倉庫を整備し、民家の倉庫と区別するとともに資機材の取扱い訓練を実施する。
事業実績	孤立対策推進地区に防災資機材保管用倉庫を9基購入。孤立対策用の資機材を民家の倉庫と区別した。 自主防災隊が設置し、資機材の取扱い訓練を実施した。 

平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	小山地区連合自主防災隊
事業名	車椅子配備事業
事業内容	地区内の自治会館等 9 箇所に車椅子を配備し、災害時の要援護者の避難支援をスムーズに行うとともに住民の防災への意識を高めることを目的とする。
事業実績等	<p>車椅子 9 台を単位自治会に配備し自治会の防災訓練で使用した。</p> 

申請団体	清新地区連合自主防災隊
事業名	清新地区防災資機材整備活用事業
事業内容等	地区連合自主防災隊が資機材を整備し、単位自主防災隊が共用できる形をとることで、単位自主防災隊ごとの資金力や置き場所等の問題に対応し、地区全体に防災力向上を図ることを目的とする。
事業実績	<p>防災用テント 3 張、発電機 4 台、投光機（三脚式 L E D ） 2 基、ヘッドライト 2 5 個、地図（ A 0 判 ） 3 部、防災倉庫 2 棟を地区内 3 拠点に配備し、購入資機材を活用した地区連合の防災訓練を実施した。</p>  

平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	横山地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機導入事業
事業内容等	単位自主防災隊にデジタル簡易無線機を配備することにより、地区内の連絡手段を確保し、迅速な地域の情報収集及び円滑な救援活動を行うことを目的とし導入する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 6)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p> 

申請団体	中央地区連合自主防災隊
事業名	無線機による情報連絡体制整備事業
事業内容等	無線機を導入し連絡体制を整備することで、災害時に電話機等が使用できない場合の情報共有や緊急連絡体制の強化を図る。地区連合自主防災隊長ほか役員に配備する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 10)を導入し地区役員に配備した。あわせて通信訓練を行い、日ごろから防災意識の高揚を図っている。</p> 

平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	星が丘地区連合自主防災隊
事業名	星が丘地区防災資機材整備活用事業
事業内容等	星が丘地区は住宅が密集しており、大災害時には家屋の延焼が危惧されることから初期消火資機材（スタンドパイプ等）を整備し、訓練を実施することで自主防災隊の防災力を高め、自主防災組織及び地域の防災に対する意識の高揚を図る。
事業実績	<p>初期消火資機材（スタンドパイプ、ホース等）5セットを地区内の自主防災隊に配備し、地区連合自主防災隊主催による取扱い訓練を実施した。</p> 

申請団体	光が丘地区連合自主防災隊
事業名	光が丘地区自主防災隊資機材整備事業
事業内容等	自主防災隊の使用する初期消火活動用資機材を整備することで、より効果的な訓練の実施が可能になる。また、訓練を重ねることで光が丘地区の防災力向上を図ることを目的とする。
事業実績	<p>初期消火用資機材（スタンドパイプ、ホース等）4セットを地区内の自主防災隊に配備し、地区連合自主防災隊主催による取扱い訓練を実施した。</p> <p>未配備の地区からも資機材の整備を希望する声があがっており、地区全体の防災意識の向上につながったと考える。</p> 

平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	上溝地区連合自主防災隊
事業名	車椅子配備事業 資機材(リヤカー)配備事業
事業内容等	災害時要援護者の避難支援のため、地区内のすべての自治会館(16箇所)に車椅子を1台ずつ配備し、スムーズな援護を行うことを目的とする。 災害時の物資や負傷者等の搬送用として希望する地区にリヤカーを配備する。
事業実績	<p>車椅子16台をすべての自治会館に配備した。上溝ふくしまつりで車椅子講座を開催し、使用方法や介助方法を学んだ。 3地区の自主防災隊にリヤカーを配備し搬送訓練を実施した。 多くの自治会員(自主防災隊員)が車椅子やリヤカーの取扱い方法等を学ぶことができ、 災害時における要援護者等の支援者育成が図られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

申請団体	田名地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機配備事業
事業内容等	課題となっている災害時における通信体制の確立について、地区内の情報収集を行う現地対策班(まちづくりセンター)と地域の状況を把握する自主防災隊との情報伝達手段を確保することで安全・安心なまちづくりを推進する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型1、携帯型19)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p> 

平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	大野中地区連合自主防災隊
事業名	大野中地区情報連絡体制整備事業
事業内容等	地区の防災力向上のため、連合自主防災隊を基点とした各自治会との連絡・状況把握手段を確立し、災害時の迅速な活動をできるようにする。なお、連絡手段は誰でも取り扱いができ、確実な通信手段である P H S とする。
事業実績	<p>P H S 備蓄キット 1 7 セットを購入し地区内に配備した (2 年度計画)。機器の説明を含め訓練を 2 回実施した。</p> <p>機器の取り扱いには慣れも必要なため今後も訓練を実施するとともに、使用基準を確立していく。</p>



申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業名	災害時の情報伝達に関する事業
事業内容等	大野南地区は、範囲が広く自治会数も多いため、確実な情報収集体制の整備が必要である。そのため、導入済みのアナログ無線機を 2 年計画でデジタル無線機に更新し、通信環境の整備を行う。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機 2 1 台を購入し地区内に配備した。従来のアナログ無線機も併用して使用するため、機器の説明を含め訓練を実施した。</p>



平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	麻溝地区連合自主防災隊	
事業名	デジタル簡易無線配備事業	
事業内容等	<p>自主防災隊は災害時に地域住民の安全で安心な生活を守る組織として活躍が期待される。地区内の情報収集を行う現地対策班（まちづくりセンター）と、地域の状況を把握する自主防災隊との情報伝達手段を確保し、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>	
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 14)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p>	 

申請団体	新磯地区連合自主防災隊	
事業名	新磯地区災害時要援護者避難支援に係る支援体制構築事業	
事業内容等	<p>地区で取り組んでいる「新磯地区災害時要援護者避難支援事業」の推進にあわせ、個人情報保管する金庫等を整備するとともに、勉強会や訓練を行い災害時要援護者の実態把握及び安否確認の支援体制作りを実施していく。</p>	
事業実績	<p>市と「災害時要援護者避難支援事業」の協定を締結した自治会の自治会館に個人情報(名簿)保管用の金庫、鍵付きロッカー、車椅子を整備した。あわせて要援護者の救助等を想定した訓練を実施した。これにより新磯地区災害時要援護者避難支援事業が大きく推進し地域の防災体制が充実した。</p>	  

平成 25 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	新磯地区連合自主防災隊
事業名	地域防災・共助意識の啓発事業
事業内容等	新磯地区防災連絡協議会委員や住民が、地区の特性に応じた防災活動や実践事例を学ぶため、独立行政法人防災科学技術研究所の研究員を講師に招き、地域コミュニティレベルで実践可能な防災活動を学ぶ。
事業実績	<p>講演会「地域の災害特性と地域防災活動を学ぶ」を開催。</p> <p>地域コミュニティレベルで実践可能な防災活動を学ぶことができ、地域防災力の向上につながった。</p> 

申請団体	新磯地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線配備事業
事業内容等	デジタル簡易無線機を配備することにより災害時の通信体制を整え、災害時の現地対策班となるまちづくりセンターほかに配備し、訓練を実施する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(携帯型6)を導入し、災害時の現地対策班に詰める隊長用のほか単位自主防災隊との4つの中間組織、事務局に配備した。</p>   

平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	相模台地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機配備事業
事業内容等	相模台地区では、災害時における情報伝達を伝令により行っていたが、地区内の情報収集を行う現地対策班(まちづくりセンター)と地域の状況を把握する自主防災隊との情報伝達手段を確保する。これにより人員を被災状況の把握や支援活動などにまわすことが可能となり、よりいっそうの安全・安心なまちづくりを推進する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 20)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

申請団体	相武台地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機配備事業
事業内容等	地区内の情報収集を行う現地対策班(まちづくりセンター)と地域の状況を把握する単位自主防災隊との情報伝達手段を確保し、訓練を重ね安全・安心なまちづくりを推進する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 15)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p> 

平成 2 5 年度相模原市自主防災力向上事業 実施状況

申請団体	東林地区連合自主防災隊
事業名	デジタル簡易無線機配備事業
事業内容等	地区内の情報収集を行う現地対策班(まちづくりセンター)と地域の状況を把握する単位自主防災隊との情報伝達手段を確保し、安全・安心なまちづくりを推進する。
事業実績	<p>デジタル簡易無線機(据置型 1、携帯型 17)を導入し地区内に配備し、通信訓練を行った。</p> 